

二人の愛した岩手山



2016年2月2日(火) ~ 3月31日(木)

開館時間：9：00 ~ 16：30 (入館は16：00まで)

入館料：200円 (団体20名以上150円)

中学生以下無料

休館日：月曜 (月曜祝日の場合は翌平日)

八幡平市博物館

〒028-7533
岩手県八幡平市叭田230番地
TEL：0195-63-1122
FAX：0195-63-1123

東北自動車道安代ICから車で3分
JR花輪線荒屋新町駅より徒歩10分



宮沢賢治・石川啄木

二人の中の岩手山

岩手の文人といえば、賢治と啄木。この2人が八幡平市と関わりがあったことを知っていますか？

宮沢賢治と石川啄木は、それぞれ違った形で八幡平市と関わりをもち、その経験を作品に表しています。

トピック展では、賢治・啄木と八幡平市の関わりを中心に、対極的な生き方をした2人が心の拠り所とした岩手山への想い、そして賢治・啄木と同じように八幡平市の自然や風土にインスピレーションを受け、創作活動をした八幡平市の文人たちを紹介します。



岩手山

雄大な岩手山は、賢治・啄木のみならず八幡平市の文人にも大きな影響を与えている。



宮沢賢治歌碑

賢治は花巻農学校教師時代に焼走りを訪れている。岩手山と熔岩流を見て自然の偉大さと美しさに感動したのではないかと。



石川啄木歌碑

平館大泉院にある啄木の歌碑。啄木の父、一禎は平館大泉院の仏門に入り和歌・史学などの学問に励んだという。

● ギャラリートーク

当館スタッフが展示の解説を行います。

2月11日(木)、28日(日)

3月6日(日)、20日(日)

いずれも13:30~14:00

● 『大人の読み聞かせ会 -八幡平市をテーマに-』

岩手ゆかりの文豪たちの作品をいくつか選び、作品の背景や作者の思いなどを読み解きます。

3月20日(日) 13:30 ~ 15:30

【要予約】0195-63-1122

会場：八幡平市博物館映像学習室

八幡平市博物館

住所：〒028-7533 岩手県八幡平市叭田 230 番地

電話番号：0195-63-1122 FAX：0195-63-1123